

八重瀬町
YAESE TOWN

第2次八重瀬町総合計画

実施計画

令和8年度（令和7年度決算分）

事務事業評価

「サマーレビュー」シート

※画像はイメージです

経済建設部
農林水産課・農業委員会

【目 次】

事務事業名	ページ
特定地域経営支援対策事業	1
ミバエ地上防除委託	2
八重瀬町鳥獣被害防止対策事業	3
さとうきび優良種苗安定確保事業	4
農地中間管理事業委託	5
ふれあい農園	6
八重瀬農業振興地域整備計画変更(全体見直し)委託費	7
畜産飼料購入費助成事業補助金	8
農業次世代人材投資事業(旧青年就農給付金事業)	9
新規畑人資金支援事業	10
沖縄型森林環境保全事業(松くい虫防除一括交付金県事業分)	11
緑化木保全対策事業(アカギヒメヨコバイ防除事業)	12
八重瀬町シルバー人材センター運営補助金	13
八重瀬町商工会補助金	14
農地利用最適化交付金事業	15

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課				班(係)名		農林水産商工班	
会 計	一般会計	科 目	6 款	1 項	3 目	主な契約方法(該当のみ)		
事務事業名	特定地域経営支援対策事業							

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	経営の安定に資するため、気象災害等による作物の育成への影響等を受けにくい生産環境を整備し、農業所得の向上を図り、意欲ある農業経営体の育成・確保に努める。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位										
事業費	直接事業費	円	-		199,409,000		356,982,464	179%	107,481,000	30%	180,375,000	168%
	国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
	県支出金	円	-		199,409,000		334,671,000	168%	107,481,000	32%	180,375,000	168%
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	-		-		-		-		-	
	一般財源	円	-		-		22,311,464		-	0%	-	
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
高生産性農業用機械施設整備面積	㎡	10,000		10,000		10,000		10,000		10,000	
		0		19,403		-		9,614		13,000	
		達成率	0%	194%				96%		130%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
導入農家数	人	6		6		6		6		6	
		0		15		-		7		6	
		達成率	0%	250%				117%		100%	
成果説明	「高生産性農業用機械施設(野菜温室:50角パイプ(ドーム型)事業量:9,613.5㎡、農家数:7名 事業費:157,640千円 耐用年数:8年 作物名:ピーマン)」の導入を支援することができた。地域農家の農産物の栽培体系を露地から施設栽培に切り替えることで、高収益作物への転換が可能となった。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

5.【事務事業の総合計画・令和6年度の方向性】・「Action」取組方									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価(所管課)	高生産性農業用機械施設(野菜温室)の導入を支援することができた。地域農家の農産物の栽培体系を露地から施設栽培に切り替えることで、高収益作物への転換が可能となった。今年度も継続して実施する。								
二次評価(行革本部)	気象災害への対応や農業所得の向上は、持続可能な農業経営の確立に不可欠であり、町が直接的に支援を行う必要性が高く今後も継続的なニーズが見込まれるため、事業の目的・内容ともに妥当性は高いと言えます。事業費も令和6年度を除き全額国庫支出金で賄われているため、効率性の高い事業です。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名		農林水産商工班		
会 計	一般会計	科 目	6	款	1	項	3	目	主な契約方法(該当のみ)	少額随意契約
事務事業名	ミバエ地上防除委託									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	農産物害虫であるミカンコミバエが侵入すると果実や果菜類に寄生し被害を及ぼすとともに、出荷停止など、農業経営へ影響を及ぼすことからその侵入防止を図る。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	直接事業費		円		円		円		円		円	
事業費	財源内訳	国庫支出金	円		円		円		円		円	
		県支出金	円		円		円		円		円	
		町債	円		円		円		円		円	
		その他	円		円		円		円		円	
		一般財源	円		円		円		円		円	
		正規職員	人	1	人	1	100%	人	1	100%		0%
従事職員	会任・嘱託職員等	人									1	
		正規職員時間外勤務	時間									

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
誘殺板設置回数	回		4		4		4		4		4
			4		4		4		4		4
	達成率		100%		100%		100%		100%		100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
誘殺板設置枚数	枚		6,564		6,564		6,564		6,564		6,564
			6,564		6,564		6,564		6,564		6,564
	達成率		100%		100%		100%		100%		100%
成果説明	町内全域にミカンコミバエ防除用誘殺板の吊り下げ防除を行い、ミカンコミバエの侵入防除を図れた。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定		
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	左記(①+②)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2		
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	左記(③+④)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3		
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	左記(⑤+⑥)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3		

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価 (所管課)		ミカンコミバエ防除として、町内全域に4回にわけ誘殺板を6564枚設置出来ておりミカンコミバエの侵入防除を図れている。							
二次評価 (行革本部)		ミカンコミバエは農業に甚大な被害をもたらす可能性があり、その侵入防止は地域農業の安定的な維持・発展に不可欠であるため、事業目的の妥当性は高いと評価できます。また、活動指標及び成果指標は、令和4年度から令和7年度まで全て目標を100%達成しており、事業が計画通りに実施され、事業の有効性が高いことを裏付けています。							

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名		農林水産商工班		
会 計	一般会計	科 目	6	款	1	項	3	目	主な契約方法(該当のみ)	—
事務事業名	八重瀬町鳥獣被害防止対策事業									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	シロガシラやカラスといった有害鳥獣による農作物被害を防止し農作物の生産拡大を図る。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	32,800		46,800	143%	21,600	46%	9,200	43%	4,800	52%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円	16,400		23,400	143%	10,800	46%	4,600	43%	2,400	52%
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	16,400		23,400	143%	10,800	46%	4,600	43%	2,400	52%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
シロガシラ捕獲数	羽			150		120		120		70	
				117		54		23		11	
	達成率			78%		45%		19%		16%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
シロガシラ被害額	円		1,890,000		1,890,000		1,890,000		1,890,000		779,521
			204,325		766,034		2,081,000		132,000		
	達成率		11%		41%		110%		7%		0%
成果説明	シロガシラの捕獲個体数23羽。 有害鳥獣のによる農産物への被害軽減を図り、農家の生産意欲向上、生産拡大を図ることができた。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	当該事業を行うことにより、年々シロガシラ捕獲量及び被害額は減少しているため、当該事業の成果が認められる。しかし、近年ではハシブトガラスによる被害も起きていたため、引き続き町が当該事業を行い、鳥獣被害防止を図ることが望ましい。				
二次評価(行革本部)	有害鳥獣による被害は農業経営に直接的な影響を与えるため、その防止は地域農業の安定的な発展に不可欠であり、事業目的の妥当性は高いと評価できます。また、成果指標である「シロガシラ被害額」は、令和4年度、令和5年度、令和7年度において目標値を大きく下回っており(被害が抑制されていることを意味する)、事業が一定の成果を上げていることが示されています。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名			農林水産商工班		
会 計	一般会計	科 目	6	款	1	項	3	目	主な契約方法(該当のみ)		
事務事業名	さとうきび優良種苗安定確保事業										

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	沖縄県が奨励するさとうきびの優良品種を地域に拡大し増産を図るため、優良種苗圃の設置を委託する事業
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	直接事業費		円	3,939,300		3,638,400	92%	3,824,000	105%	4,290,720	112%	4,269,000	100%
事業費	財源内訳	国庫支出金	円										
		県支出金	円	3,939,300		3,638,400	92%	3,824,000	105%	4,290,720	112%	4,269,000	100%
		町債	円										
		その他	円										
		一般財源	円										
		正規職員	人										
従事職員		会任・嘱託職員等	人										
		正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
原苗圃面積	a	270		240		240		273		250	
		270		240		240		273		250	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
配布人数	人	121		120		120		120		120	
		121		120		120		120		120	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果説明	さとうきびの植付希望農家へ無償配布										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定		
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	左記(①+②)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2		
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	左記(③+④)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3		
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	左記(⑤+⑥)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3		

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C:【事務事業の総合計画】令和5年度の方向性】・A:効率(改善)力									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価(所管課)	優良種苗圃を設置し農家へ配布することで、県の奨励する優良品種を地域へ拡大し増産に繋がるため必要な事業である。								
二次評価(行革本部)	優良品種の安定供給は、品質向上と収量増加に直結し、農家の経営安定に貢献するため、事業の妥当性は高いと判断します。また、活動指標及び成果指標が、過去4年間に於いて目標値を100%達成しており、事業の有効性も高いと評価できます。さらに、事業費が全額県支出金で賄えていることから効率性も高い事業です。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名		農林水産商工班	
会 計	一般会計	科 目	6	款	1	項	3	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	農地中間管理事業委託								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	農地中間管理事業に関する委託業務において、農地調整員を配置し担い手への集積等業務を推進していく。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	直接事業費		円	2,377,057		3,210,376	135%	4,307,154	134%	4,591,209	107%	4,607,200	100%
事業費	財源内訳	国庫支出金	円										
		県支出金	円										
		町債	円										
		その他	円	2,349,000		2,387,000	102%	2,687,000	113%	2,687,000	100%	2,740,000	102%
		一般財源	円	28,057		823,376	2935%	1,620,154	197%	1,904,209	118%	1,867,200	98%
		正規職員	人										
従事職員		会任・嘱託職員等	人										
		正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
農地の貸借	件	15		20		40		50		50	
		15		39		43		67		50	
		達成率	100%	195%		108%		134%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
貸借面積	㎡	30,000		40,000		80,000		90,000		90,000	
		24,734		81,900		88,620		145,713		90,000	
		達成率	82%	205%		111%		162%		100%	
成果説明	担い手への農地の集積を図るため、沖縄県農業振興公社(農地中間管理機構)から八重瀬町が事務の委託を受け実施。貸し手農家と借り手農家(担い手)の間に農地中間管理機構が入り、農地の貸し借りを行なう事業となっており、R7年度は67件のマッチングを行った。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	当該事業により、遊休農地の解消及び担い手への農地の斡旋を図ることができ、安心安全な農地の貸借の契約を結ぶことができた。				

二次評価(行革本部)	遊休農地の解消、経営規模の拡大、新規就農者の支援といった多岐にわたる課題解決に貢献するものであり、事業目的の妥当性は高いと評価できます。活動指標及び成果指標が、令和4年度の一部未達を除き、継続的に目標値を大幅に上回って達成されており有効性も高いと評価できます。投入コストについても、事業費は年々増加傾向にありますが、それに比例して貸借件数・面積といった成果が大きく伸びていることから、効率性も高いと判断できます。
------------	--

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名		農林水産商工班		
会 計	一般会計	科 目	6	款	1	項	3	目	主な契約方法(該当のみ)	少額随意契約
事務事業名	ふれあい農園									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	農業者以外の町民が家庭用野菜や花等を栽培し、自然に触れ合うとともに、農業に対する理解を深めることとする。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	252,470		189,938	75%	260,976	137%	228,228	88%	266,000	117%
	国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
	県支出金	円	-		-		-		-		-	
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	252,470		189,938	75%	260,976	137%	228,228	88%	266,000	117%
	一般財源	円	-		-		-		-		-	
	正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正規職員時間外勤務	時間	-		-		-		-		-	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
地主との契約	件	1		1		1		1		1	
		1		1		1		1		1	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
区画の利用	区画	41		41		41		41		41	
		41		41		41		41		41	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果説明	町が借りている土地を41区画に分け、町民に貸付を行う。賃借料300円/坪、共益費一律2,000円を徴収し、運用を行う。農業者以外の者が野菜や花等を栽培して、自然に触れ合う機会の提供を行えることができた。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	区画の募集において区画数を上回る応募があったので、今後も一定以上のニーズが見込める。				
二次評価(行革本部)	一次評価において「区画の募集において区画数を上回る応募があった」ことから、提供する区画数に対して潜在的な需要が旺盛であることが伺え、事業の妥当性は高いと言えます。また、事業費が全額賃借料及び共益費で賄えていることから、投入コストに対する成果は効率的であると判断できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名		農林水産商工班		
会 計	一般会計	科 目	6	款	1	項	3	目	主な契約方法(該当のみ)	指名競争入札
事務事業名	八重瀬農業振興地域整備計画変更(全体見直し)委託費									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	おおむね5年毎に行う基礎調査の結果に基づき農業振興地域整備計画書の見直しを行う。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	-		-		3,322,000		2,112,000	64%	2,475,000	117%
	国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
	県支出金	円	-		-		-		-		-	
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	-		-		-		-		-	
	一般財源	円	-		-		3,322,000		2,112,000	64%	2,475,000	117%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正規職員時間外勤務	時間	-		-		16		-	0%		

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
八重瀬農業振興地域整備計画全体見直し業務委託契約の締結	件	-	-	1	1	1
		-	-	1	1	1
	達成率			100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
農業振興地域整備計画書の見直しにおける資料の作成	式	-	-	1	1	1
		-	-	1	1	1
	達成率			100%	100%	100%
成果説明	見直しを行うための現地調査結果のリスト及び図面、基礎資料、県との予備調整資料の作成を委託により行った。					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている		3	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	業務委託により八重瀬農業振興地域整備計画の見直しに係る資料の作成を行い、計画策定に向けて取り組むことができた。				
二次評価(行革本部)	農業振興地域整備計画の見直しを行うための基礎調査や資料作成を専門の事業者に委託することにより、職員の時間外勤務時間等の負担が軽減されており、効率性は妥当であると評価できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名		農林水産商工班	
会 計	一般会計	科 目	2 款	1 項	15 目	主な契約方法(該当のみ)			
事務事業名	畜産飼料購入費助成事業補助金								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	原油価格・物価高騰の影響を受けている畜産農家の支援を目的に、生産意欲を高め、畜産経営の安定化を図る。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	-		-		6,996,014		6,988,844	100%	-	0%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円					6,996,014		6,988,844	100%		0%
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円										
	正規職員	人					1		1	100%		0%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
支援重量:700トン	トン					700		700			
						813		743			
	達成率					116%		106%			
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
飼養頭数:前年度末の頭数	頭					1,823		1,604			
						1,604		1,472			
	達成率					88%		92%			
成果説明	町内に住所を有する畜産農家および酪農家に対し、飼料を購入した経費に対して補助金を交付する。 ① 配合飼料 1トンあたり上限額10,000円の3ヶ月分										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定		
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	左記(①+②)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3		
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	左記(③+④)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3		
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	左記(⑤+⑥)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3		

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

8.【事務事業の総合計画・令和5年度の方針性】「Action(改善)」									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価(所管課)	畜産農家からの申請も多く、目標の支援重量を上回った。高齢化による離農などの影響で目標には達しなかったが、畜産経営の安定化を図るうえで、当該事業は有効であると考えられる。								
二次評価(行草本部)	活動指標である「支援重量」は、対象年度(令和5年度、令和6年度)において目標を大幅に上回る実績(106%～116%)を示しており、畜産農家からの高いニーズと事業の高い活動実態が確認できます。成果指標である「飼養頭数」は、目標には若干届かないものの、一次評価で示されたように「高齢化による離農」という外部要因を抱えながらも、概ね高い達成率(88%～92%)を維持しており、事業が畜産経営の安定化に一定の貢献をしていることが示唆されます。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名			農林水産商工班	
会 計	一般会計	科 目	6	款	1	項	7	目	主な契約方法(該当のみ)	
事務事業名	農業次世代人材投資事業(旧青年就農給付金事業)									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	新規青年等就農にかかる支援事業(旧青年就農給付金事業)。事業目的としては就農直後の経営を支援し、将来の農業従事者の担い手不足を解消していく。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	17,761,927		12,991,116	73%	7,332,294	56%	4,925,348	67%	2,090,000	42%
	国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
	県支出金	円	17,761,927		12,991,116	73%	7,332,294	56%	4,925,348	67%	2,090,000	42%
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	-		-		-		-		-	
	一般財源	円	-		-		-		-		-	
	正職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正職員時間外勤務	時間	-		-		-		-		-	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
支援農家数:5人	人	5人		5人		5人		5人		5人	
		14人		12人		8人		5人		2人	
	達成率										
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
新規就農者数:5人	人	5人		5人		5人		5人		5人	
		3人		6人		8人		7人		-	
	達成率										
成果説明	事業実施により、新規就農時の経済的負担が軽減されることにより新規就農者が安心して農業を始められる環境が整うことで、農業への参入障壁が下がり、新規就農者が増加し担い手不足の解消が期待されます。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C:【事務事業の総合計画（令和5年度の方針）】・Action(改善)									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価(所管課)	目標の支援農家数を上回る人数を支援することができたことにより新規就農及び農業への定着をはかることができた。								
二次評価(行革本部)	活動指標での「支援農家数」は、令和5年度から令和7年度にかけて目標の2倍～3倍の実績を上げており、この事業に対する高いニーズが示されています。成果指標の「新規就農者数」も、令和5年度から令和7年度にかけて目標を達成または大幅に上回っており、事業が新規就農者の増加に効果的に寄与していることが伺えます。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名		農林水産商工班	
会 計	一般会計	科 目	6 款	1 項	7 目	主な契約方法(該当のみ)			
事務事業名	新規畑人資金支援事業								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	新規青年等就農にかかる支援事業（農業次世代人材投資事業の後期事業）。事業の目的としては就農直後の経営を支援し、将来の農業従事者の担い手不足を解消していく。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト (インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位										
事業費	直接事業費	円	5,250,000		15,000,000	286%	25,500,000	170%	30,750,000	121%	28,500,000	93%
	国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
	県支出金	円	5,250,000		15,000,000	286%	25,500,000	170%	30,750,000	121%	28,500,000	93%
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	-		-		-		-		-	
	一般財源	円	-		-		-		-		-	
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正規職員時間外勤務	時間	-		-		-		-		-	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
支援農家数:5人	人	5人		5人		5人		5人		5人	
		7人		11人		20人		23人		20人	
	達成率										
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
新規就農者数:5人	人	5人		5人		5人		5人		5人	
		3人		6人		8人		7人		-	
	達成率										
成果説明	事業実施により、新規就農時の経済的負担が軽減されることにより新規就農者が安心して農業を始められる環境が整うことで、農業への参入障壁が下がり、新規就農者が増加し担い手不足の解消が期待されます。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	目標の支援農家数を上回る人数を支援することができたことにより新規就農及び農業への定着をはかることができた。				
二次評価(行革本部)	活動指標の「支援農家数」は、令和4年度から令和7年度にかけて目標(5人)を大幅に上回る実績(7人～23人)を上げており、この事業に対する高いニーズが示されています。成果指標の「新規就農者数」も、令和5年度から令和7年度にかけて目標(5人)を達成または大幅に上回っており、事業が新規就農者の増加に効果的に寄与していることが伺えます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名		農林水産商工班		
会 計	一般会計	科 目	6	款	2	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)	少額随意契約
事務事業名	沖縄型森林環境保全事業(松くい虫防除一括交付金県事業分)									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	林業振興上重要な資源であるとともに、景観上重要な要素であるリュウキュウマツの保全対策を図る。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	277,200		267,300	96%	280,000	105%	256,000	91%	285,000	111%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円	249,000		240,000	96%	252,000	105%	229,000	91%	256,000	112%
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	28,200		27,300	97%	28,000	103%	27,000	96%	29,000	107%
	正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
薬剤注入木本数	本	25		19		21		18		20	
		25		19		21		18		20	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
枯死を防止できた木の本数	本	25		19		21		18		20	
		25		19		21		18		20	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果説明	町内のリュウキュウマツ18本に薬剤注入を行い、林業振興上重要な資源であるとともに、景観上重要な要素であるリュウキュウマツの保全を行うことができた。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

B:【事務事業の総合計画・令和5年度の方向性】「Action(改善)」									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価 (所管課)	当該事業により枯死したリュウキュウマツは無い。また、林業振興上重要な資源であり、町の景観上重要な要素でもあるリュウキュウマツの保全が目的な為、町が当該事業を行うことは妥当である。								
二次評価 (行革本部)	活動指標の「薬剤注入木本数」および成果指標の「枯死を防止できた木の本数」は、令和4年度から令和7年度まで、毎年目標値を100%達成しており、事業が計画通りかつ効果的に実施され、リュウキュウマツの保全という目的を確実に果たしていることを示しています。また、事業費も比較的定額であること、事業費の約9割が県支出金であることから効率性の高い事業です。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名		農林水産商工班		
会 計	一般会計	科 目	6	款	2	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)	少額随意契約
事務事業名	緑化木保全対策事業(アカギヒメコバイ防除事業)									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	地域の景観を形成し、文化・観光資源としての価値を有する緑化木の保全を促進し、沖縄県の花と緑があふれる環境づくりに資することを目的とする。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	169,400		170,500	101%	173,800	102%	173,800	100%	173,800	100%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円	152,000		153,000	101%	156,000	102%	156,000	100%	156,000	100%
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	17,400		17,500	101%	17,800	102%	17,800	100%	17,800	100%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
薬剤注入木本数	本	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
枯死を防止できた木の本数	本	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
成果説明	町内のアカギ6本に薬剤注入を行い、地域の景観を形成し、文化・観光資源としての価値を有する緑化木の保全を行うことができた。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	当該事業により枯死したアカギは無い。また、町内地域の景観を形成し、文化・観光資源としての価値を有する緑化木の保全が目的な為、町が当該事業を行うことは妥当である。				
二次評価(行革本部)	活動指標の「薬剤注入木本数」及び成果指標の「枯死を防止できた木の本数」は、令和4年度から令和7年度まで、毎年目標値を100%達成しており、事業が計画通りかつ効果的に実施され、対象となるアカギの保全という目的を確実に果たしていることを示しています。また、事業が少額であること、事業費の約9割が県支出金であることから効率性の高い事業です。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名		農林水産商工班	
会 計	一般会計	科 目	7 款	1 項	1 目	主な契約方法(該当のみ)			
事務事業名	八重瀬町シルバー人材センター運営補助金								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	町内の65歳以上の元気な方々への労務提供を行っている八重瀬町シルバー人材センターに対し、組織体制の強化、事業の開拓に向けた取り組みを支援するための運営補助金を交付する。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位										
	直接事業費	円	2,998,000		6,000,000	200%	6,370,000	106%	8,336,000	131%	6,028,000	72%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	2,998,000		6,000,000	200%	6,370,000	106%	8,336,000	131%	6,028,000	72%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
会員数	人		140		145		150		155		185
			118		150		162		188		190
	達成率		84%		103%		108%		121%		103%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
受注額	千円		43,000		43,500		44,000		44,500		50,000
			39,780		55,158		70,771		86,009		80,000
	達成率		93%		127%		161%		193%		160%
成果説明	八重瀬町シルバー人材センターの組織体制の強化、事業の開拓に向けた取り組みを支援することができた。 会員数 188人 前年から +26人 受注額 86,009千円 前年から +15,238千円										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	シルバー人材センターが稼働することにより、65歳以上の高齢者に対する交流、働き場の設けられ、健康増進にもつながり、町としても予算の膨張化を防ぐ役割を果たしており、持ちつ持たれつの関係を保っている。				
二次評価(行革本部)	活動指標の「会員数」は、令和4年度に目標をわずかに下回ったものの、その後は毎年目標を達成し、順調に増加しています。成果指標の「受注額」は、令和4年度を除き、毎年目標を大幅に上回る実績を継続しており、これはシルバー人材センターが活発に事業開拓を行い、高齢者への多くの就労機会を創出していることを示しています。また、事業費も限られた投入資源で高い成果を上げており、効率的な事業運営がなされていると評価できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課					班(係)名			農林水産商工班		
会 計	一般会計	科 目	7	款	1	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)		
事務事業名	八重瀬町商工会補助金										

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	町内の商工業の発展に資するため、脆弱な中小企業の発展を促し、八重瀬町の地域活性化を図るべく八重瀬町商工会に対して支払う運営補助金。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	6,370,000		6,370,000	100%	6,370,000	100%	6,370,000	100%	6,370,000	100%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	6,370,000		6,370,000	100%	6,370,000	100%	6,370,000	100%	6,370,000	100%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
経営指導員等による事業者への指導・支援	件	1,300		1,300		1,300		1,300		1,300	
		1,414		1,030		951		1,813		1,300	
	達成率	109%		79%		73%		140%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
会員数	人	500		500		500		550		600	
		555		579		585		596		600	
	達成率	111%		116%		117%		108%		100%	
成果説明	経営指導員を雇用し、会員の相談や支援を充実させることで、地域中小企業者の経営安定を図ることができた。またそのおかげで会員数も増え、コミュニティ形成に寄与している。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

D:【事務事業の総合計画・令和9年度の方向性】・「Action(改善)」									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価 (所管課)	商工会が稼働することで、町内事業者に対する経営指導や起業したい方への創業セミナー等充実した支援を提供できる。また、町内自業者が盛り上がると、町の観光人口の増加、そしてそれが、定住人口の増加につながり、町の発展には欠かせない関係性である。								
二次評価 (行革本部)	投入コストは毎年同額(6,370千円)であり、この安定した投入資源に対し、成果指標である「会員数」は毎年目標を達成し、着実に増加しています。活動指標である「経営指導員等による事業者への指導・支援件数」は年度によって変動が見られるものの、令和7年度には目標を大幅に上回る実績を出していることから、全体として事業活動が活発に行われていることが伺えます。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	経済建設部 農林水産課(農業委員会)					班(係)名		農業委員会		
会 計	一般会計	科 目	6	款	1	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)	—
事務事業名	農地利用最適化交付金事業									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	農地利用に対して円滑かつ適切に管理を行っているのか農地パトロールや遊休地の解消を目的としている。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	1,475,777		1,475,777	100%	1,475,777	100%	1,475,777	100%	1,475,777	100%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円	1,287,000		1,287,000	100%	1,287,000	100%	1,287,000	100%	1,287,000	100%
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	188,777		188,777	100%	188,777	100%	188,777	100%	188,777	100%
	正規職員	人	3		3	100%	3	100%	3	100%	3	100%
	会任・嘱託職員等	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
農業委員の最適化活動	日	916		916		916		916		916	
		500		500		500		593		593	
	達成率	55%		55%		55%		65%		65%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
農業委員の最適化活動	日	916		916		916		916		916	
		500		500		500		593		593	
	達成率	55%		55%		55%		65%		65%	
成果説明	農地パトロールから町内にある遊休地を解消することで農地の適切な管理ができ、遊休地の支援に繋がった。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	2 成果目標をあまり達成できなかった(アウトカム達成率30~69%)				2	2
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	2 活動量を見直せば成果達成の余地がある				2	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	B 事業の手段・取組みを見直して継続	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	B 投入コストは適正であるが、成果向上の余地がある。
一次評価(所管課)	農地パトロールを実施することで、町内の農地の状況を把握できる。状況に応じて遊休地には新たに農地を求める農業者への情報提供につながり、農地の最適化利用につながった。				
二次評価(行革本部)	投入コストは比較的安定的ですが、しかし、事業の有効性を示す評価指標である「農業委員の最適化活動日」は目標達成率が55%~65%と低調に推移しているため、目標達成率が低い要因を分析し、今後の活動計画に反映させてください。				